

令和 4 (2022) 年度上半期実績と 主な取組について

令和 4 年 1 2 月 1 日 平塚市病院運営審議会
平塚市民病院



最初に

令和4年度は、引き続き

「新入院患者の確保」(R4年度目標:10,300人)

と

「DPC入院期間Ⅱを意識した在院日数管理」

を重視しました。

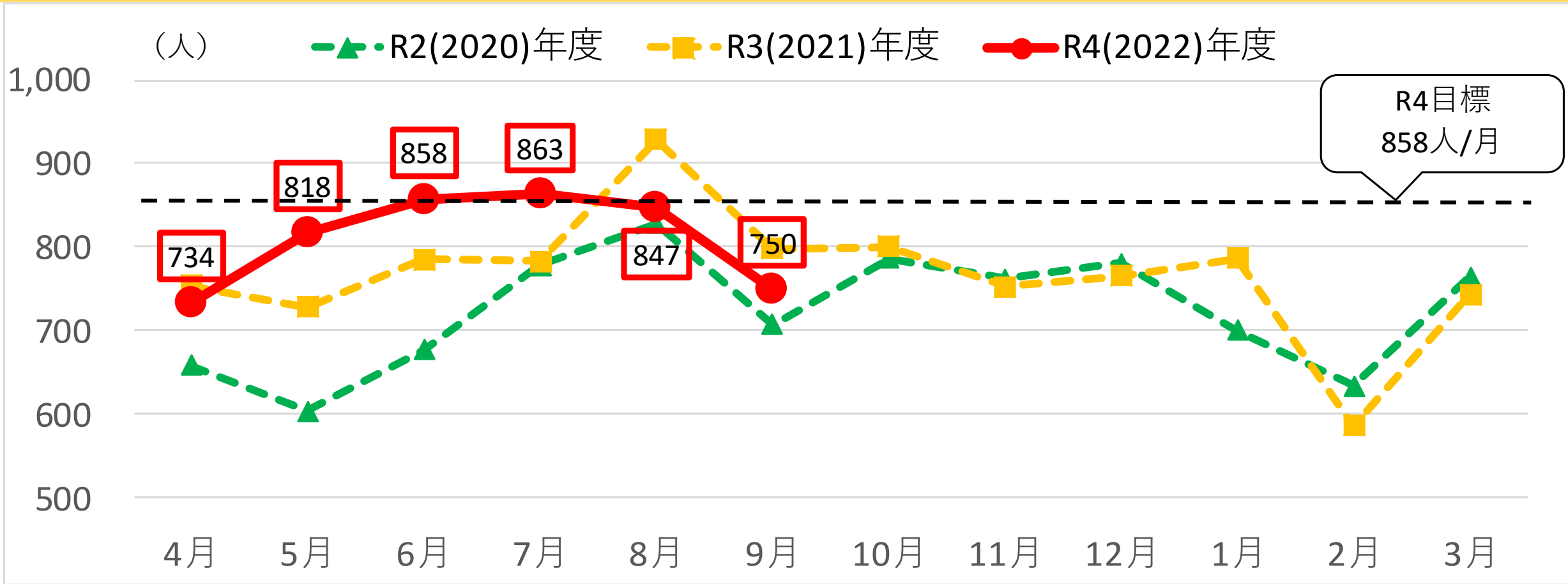
令和4年度上半期実績

主な臨床指標の前年度比較

	令和3年度 上半期	令和4年度 上半期	差
新入院患者数	4,777人	4,870人	+93人 (+1.9%)
1日平均入院延患者数	307.1人	303.7人	▲3.4人 (▲1.1%)
1日平均外来延患者数	732.3人	751.4人	+19.1人 (+2.6%)
病床利用率(稼働病床ベース)	83.2%	76.9%	▲6.3ポイント
手術件数	1,999件	2,104件	+105件 (+5.3%)
救急搬送件数	4,695件	5,463件	+768件 (+16.4%)
救急搬送入院患者数	1,494件	1,628件	+134件 (+9.0%)
紹介率	77.6%	80.5%	+2.9ポイント
逆紹介率	109.3%	98.6%	▲10.7ポイント

令和4年度上半期実績（入院）

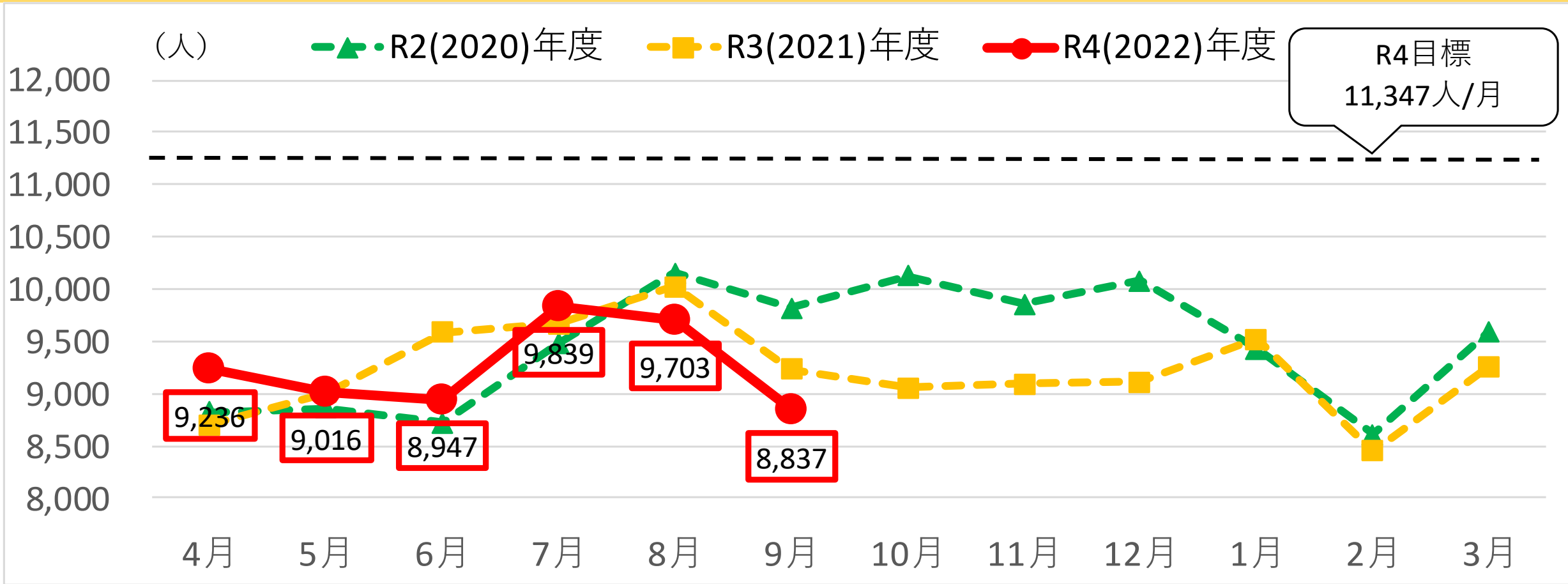
新入院患者数の推移



令和4年度は、10,300人/年(858人/月)の目標を掲げました。
→6、7月以外は目標未達成

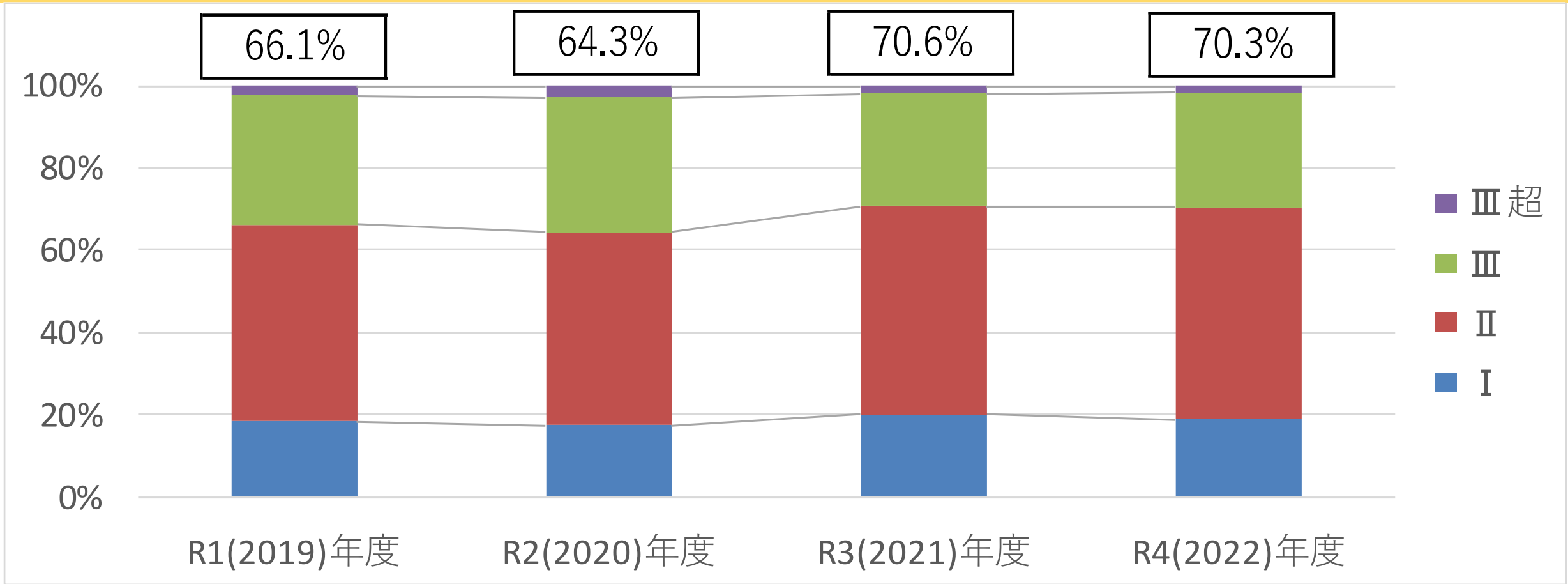
令和4年度上半期実績（入院）

入院延患者数の推移



令和4年度の延べ患者数は、令和3年度を約600人下回る
⇒DPCの入院期間Ⅱを意識した結果

D P C入院期間Ⅱまで退院率



令和4年度上半期のD P C入院期間Ⅱまで退院率はほぼ横ばい

令和4年度上半期実績（入院）

診療科別新入院患者数比較

R3上半期-R4上半期患者増減数大きい診療科

	令和3年度 上半期	令和4年度 上半期	差	備考
病院全体	4,777人	4,870人	+93人 (+1.9%)	
内科	1,567人	1,628人	+61人 (+3.9%)	
循環器内科	258人	318人	+60人 (+23.3%)	常勤医師3人増
耳鼻咽喉科	0人	54人	+54人	常勤医師2人着任
消化器内科	655人	590人	▲65人 (▲9.9%)	
呼吸器内科	145人	76人	▲69人 (▲47.6%)	常勤医師全員入れ替わり
小児科	407人	328人	▲79人 (▲19.4%)	食物アレルギー入院の減

常勤医師の増減、入れ替わりの影響が大きい。

令和4年度上半期実績（入院）

疾患別入院実患者数比較

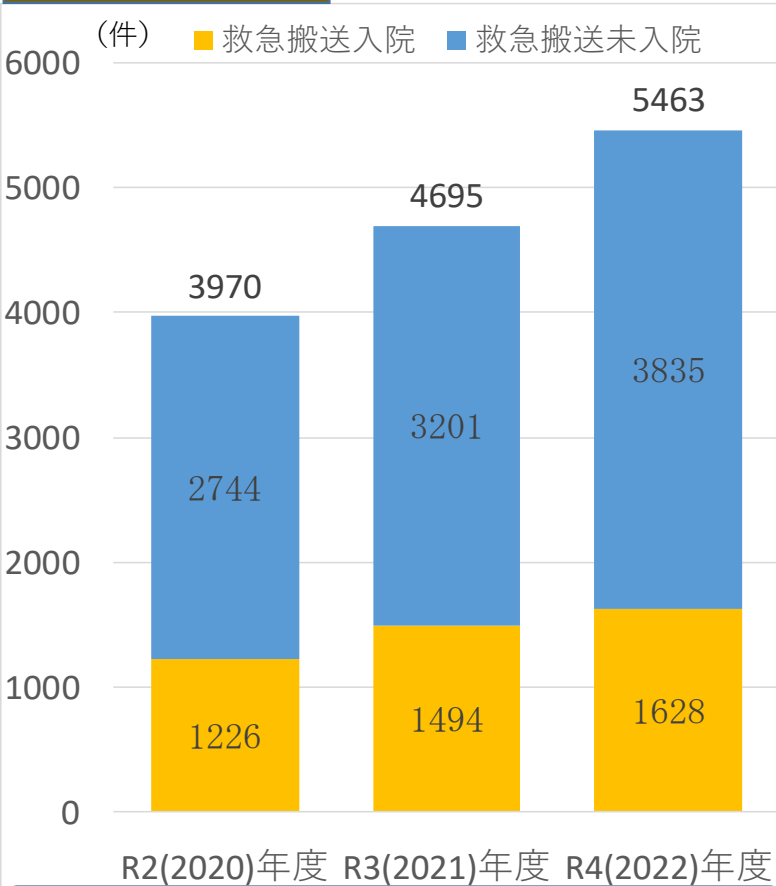
R3上半期-R4上半期増減数が大きい疾患

	令和3年度 上半期	令和4年度 上半期	差
狭心症、慢性虚血性心疾患	56人	96人	+40人 (+71.4%)
胆管結石、胆管炎	71人	109人	+38人 (+53.5%)
誤嚥性肺炎	147人	184人	+37人 (+25.2%)
食物アレルギー	57人	14人	▲43人 (▲75.4%)
肺炎等	112人	68人	▲44人 (▲39.3%)
重篤な臓器病変を伴う 全身性自己免疫疾患	73人	5人	▲68人 (▲93.2%)

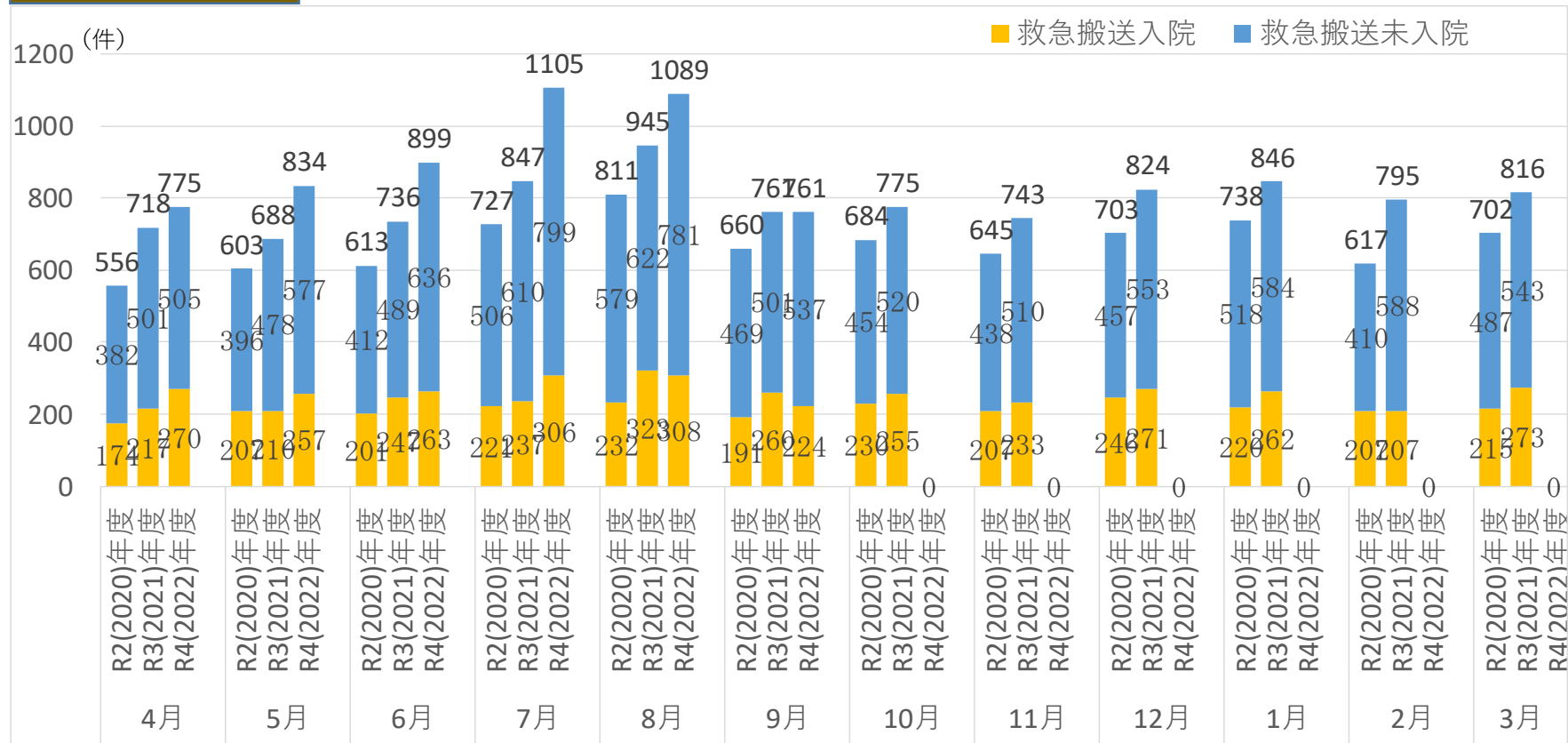
令和4年度上半期実績（入院）

救急搬送受入の推移

上半期実績



月別実績



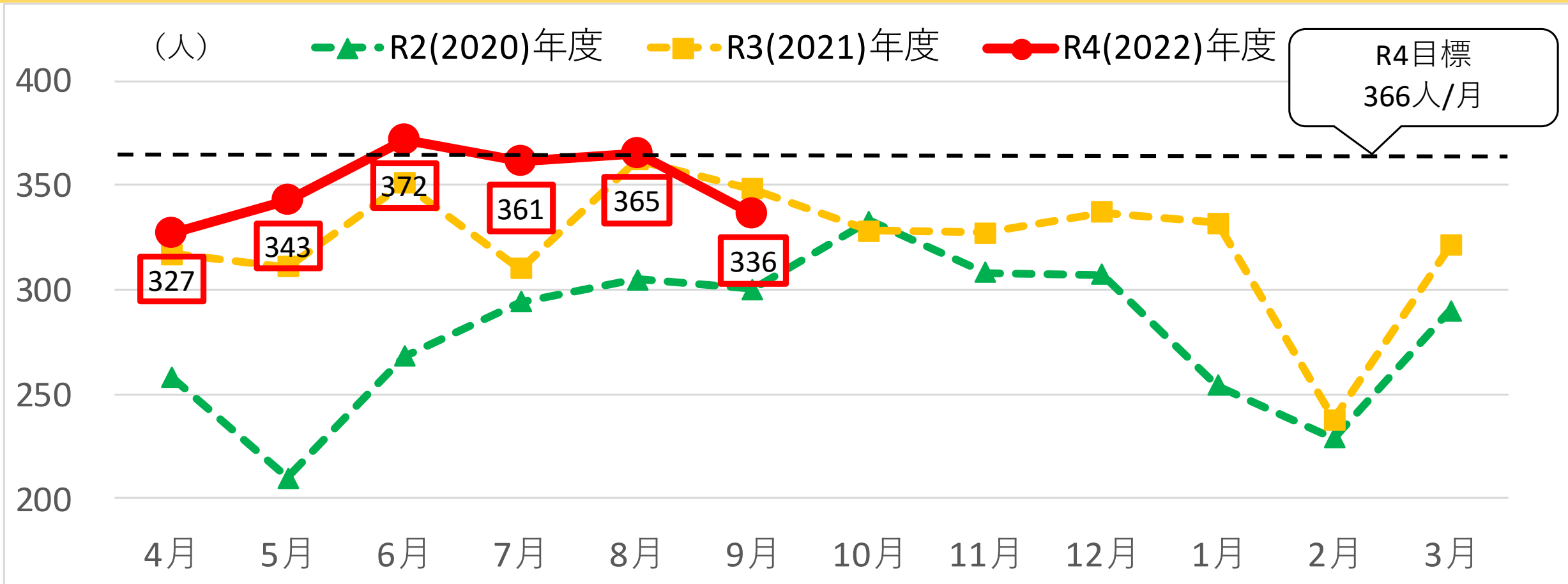
救急搬送入院率

31.8%(R3) ⇒ 29.8%(R4)

救急搬送件数、救急搬送入院患者数が増加

令和4年度上半期実績（入院）

手術件数の推移

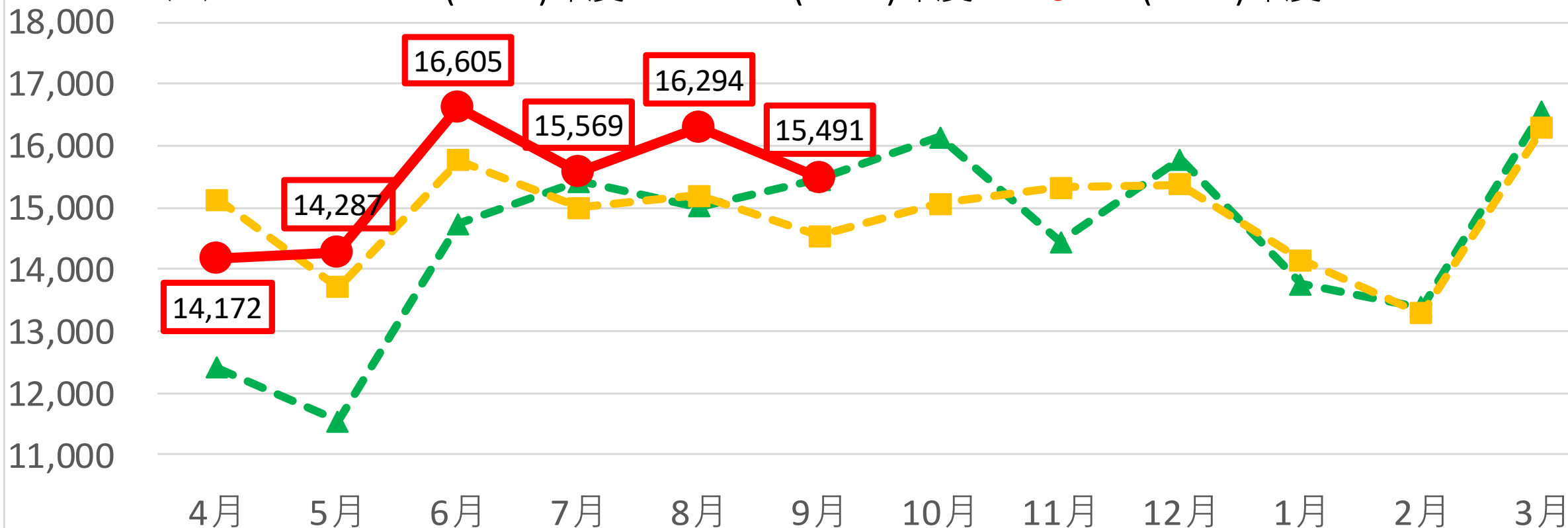


令和4年度上半期は、前年度上半期より105件増加

令和4年度上半期実績（外来）

外来延患者数の推移

(人) -▲- R2(2020)年度 -■- R3(2021)年度 -●- R4(2022)年度



外来延べ患者数は増加

令和4年度上半期実績（外来）

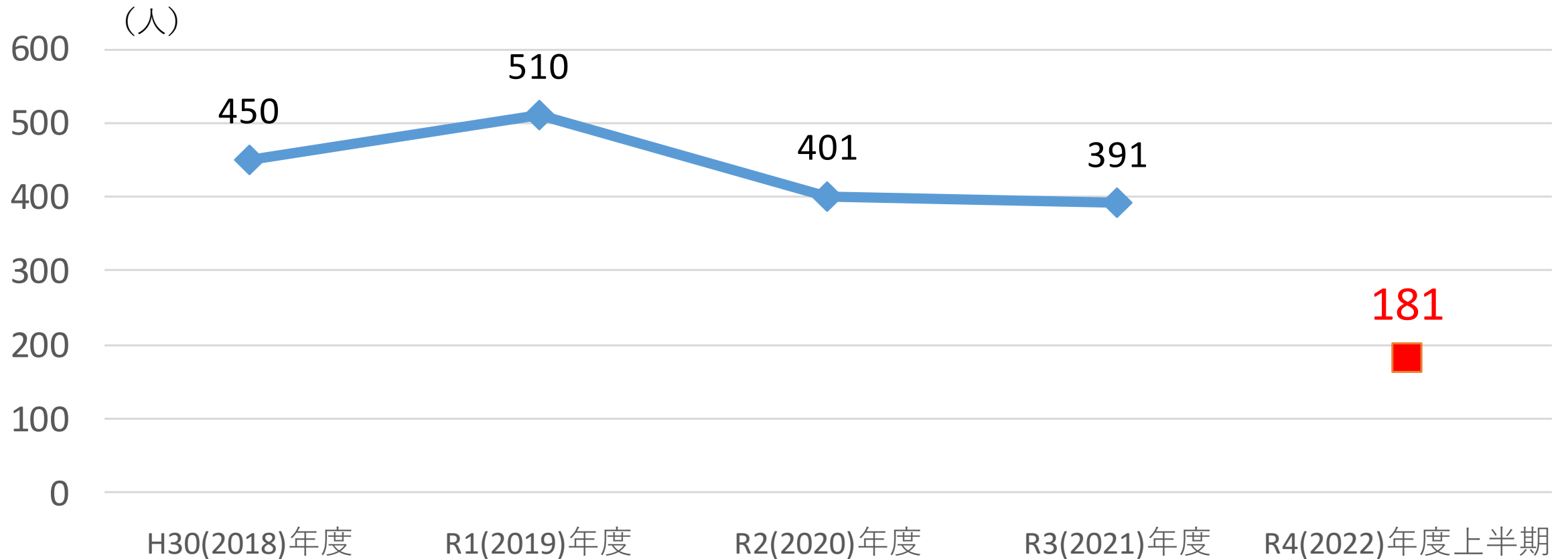
診療科別外来延患者数比較

R3上半期-R4上半期患者増減数が大きい診療科

	令和3年度 上半期	令和4年度 上半期	差	備考
病院全体	89,340人	92,418人	+3,078人 (+3.4%)	
耳鼻咽喉科	878人	2,083人	+1,205人 (+137.2%)	常勤医師2人着任
整形外科	7,253人	8,109人	+856人 (+11.8%)	
消化器内科	8,741人	9,539人	+798人 (+9.1%)	
呼吸器内科	3,373人	2,797人	▲576人 (▲17.1%)	常勤医師全員入れ替わり
皮膚科	7,936人	7,341人	▲595人 (▲7.5%)	
放射線治療科	3,315人	2,787人	▲528人 (▲15.9%)	

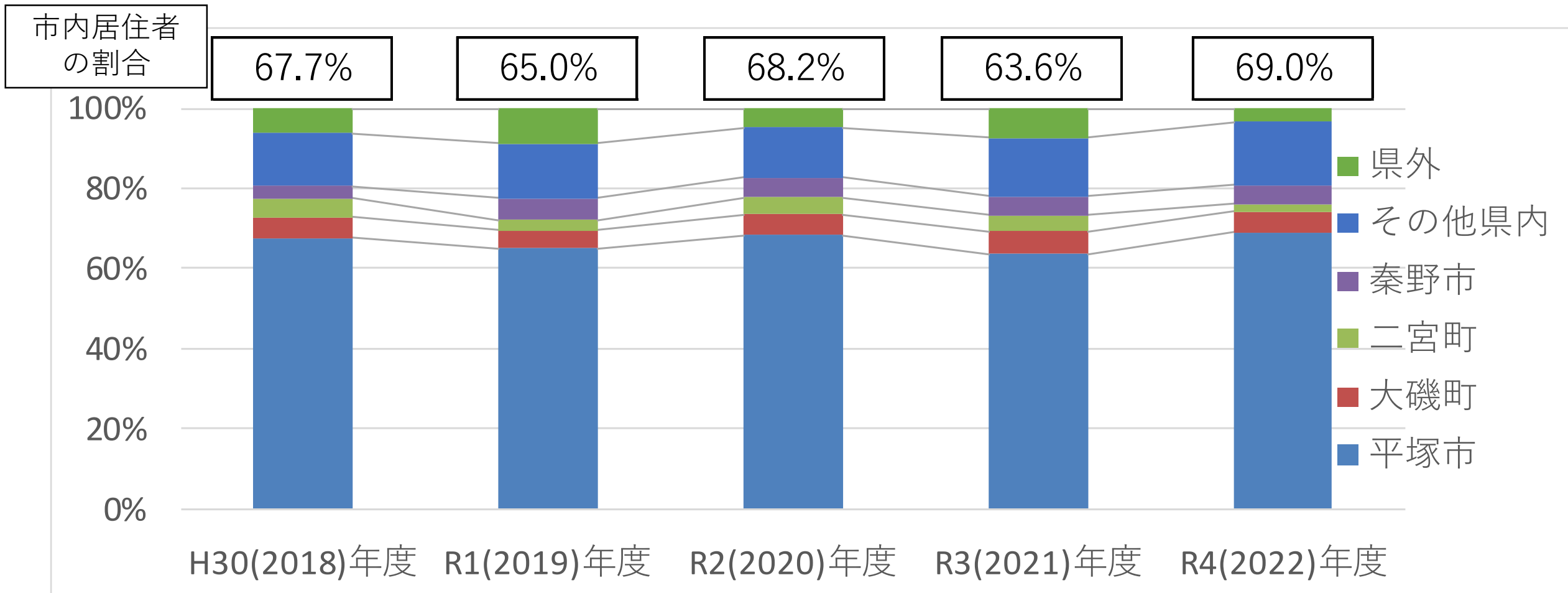
常勤医師の増減、入れ替わりの影響が大きい。

分娩件数（子どもの数）の推移



周辺自治体の出生数の減少により分娩数が減少

居住地別出生数（母体数）の推移



市内居住者の割合は、7割弱

主な経営指標の前年度比較

	令和3年度上半期	令和4年度上半期	差
医業収益	58億円	58億4,500万円	+ 4,500万円 (+ 0.8%)
入院収益	40億4,800万円	42億300万円	+ 1億5,600万円 (+ 3.8%)
外来収益	16億4,600万円	15億3,800万円	▲1億900万円 (▲6.6%)
医業費用	65億9,100万円	67億5,500万円	+ 1億6,400万円 (+ 2.5%)
給与費	32億7,900万円	34億2,900万円	+ 1億5,000万円 (+ 4.6%)
材料費	16億4,800万円	15億6,800万円	▲8,000万円 (▲4.8%)
医業収支比率	88.0%	86.5%	▲1.5ポイント
経常収支比率	96.5%	87.8%	▲8.7ポイント

入院患者数の増加で収益は増加
 医師数の増加などにより費用も増加

まとめ

- 新入院患者や入院診療単価が増加しましたが、コロナ前より患者数が少ない状況です。
- 早期にコロナ前の状況に戻す必要があります。
- 特に紹介患者や救急受診患者の増加を図り、新入院患者を増やすことが重要です。

令和4年度の取組

はじめに

令和4年度の病院の最重要目標値として

「新入院患者数」（令和4年度目標値10,300人）

を達成するために取り組みました。

令和4年度に取り組んだ内容

- ①手術用ロボット手術ユニット「hinotori」の導入
- ②循環器、脳卒中ホットライン開設
- ③救急事例検討会の開催
- ④室料差額、分娩介助料の見直し
- ⑤有料個室、出産のホームページ強化
- ⑥パンフレットの作成
- ⑦入院案内のリニューアル

令和4年度の取組

①手術用ロボット「hinotori」の導入

6月26日

「hinotori」設置

10月12日

「hinotori」手術の初例実施

※県内初の「hinotori」手術

※前立腺がんの全摘除術

11月2日

「hinotori」手術の2例目実施

**相模川以西の
高度医療の充実**



②循環器、脳卒中ホットラインの開設

循環器疾患と脳卒中に関する
連携医療機関と当院医師とのホットラインを開設

5月

循環器ホットラインの運用開始 (5/2)

脳卒中ホットラインの運用開始 (5/9)

急性期病院として対応すべき疾患への対応強化

③救急事例検討会の開催

9月28日

近隣救急隊に当院の治療等を説明する

救急事例検討会を対面で開催

※令和元年度以来の開催

近隣救急隊との連携強化

④室料差額、分娩介助料の見直し

10月1日～

室料差額、分娩介助料の市内、市外格差の解消

※これまでは、市外患者は市内患者の1.5倍

広域からの患者確保

⑤有料個室、出産のホームページ強化

出産に特化したページを作成



写真付きの有料個室紹介ページを作成



患者さんへの広報活動の強化

⑥パンフレットの作成

- 患者向け・・・2種類
(出産、有料個室)



患者さんへの広報活動の強化

- 医療機関向け・・・3種類
(hinotori、女性疾患、病院紹介)



地域医療機関への広報活動の強化

⑦入院案内のリニューアル

入院案内をリニューアル

- ・ 白黒印刷からカラー印刷に
- ・ 分かりやすくするために
内容を見直し、簡潔に記載

入院のご案内
入院前にお読みください



Hiratsuka City Hospital
平塚市民病院



患者さんに選ばれるように
分かりやすい資料を作成

まとめ

今後

“選ばれる病院” となることで

新入院患者の更なる確保に努めます。